

○九州地方の地震活動

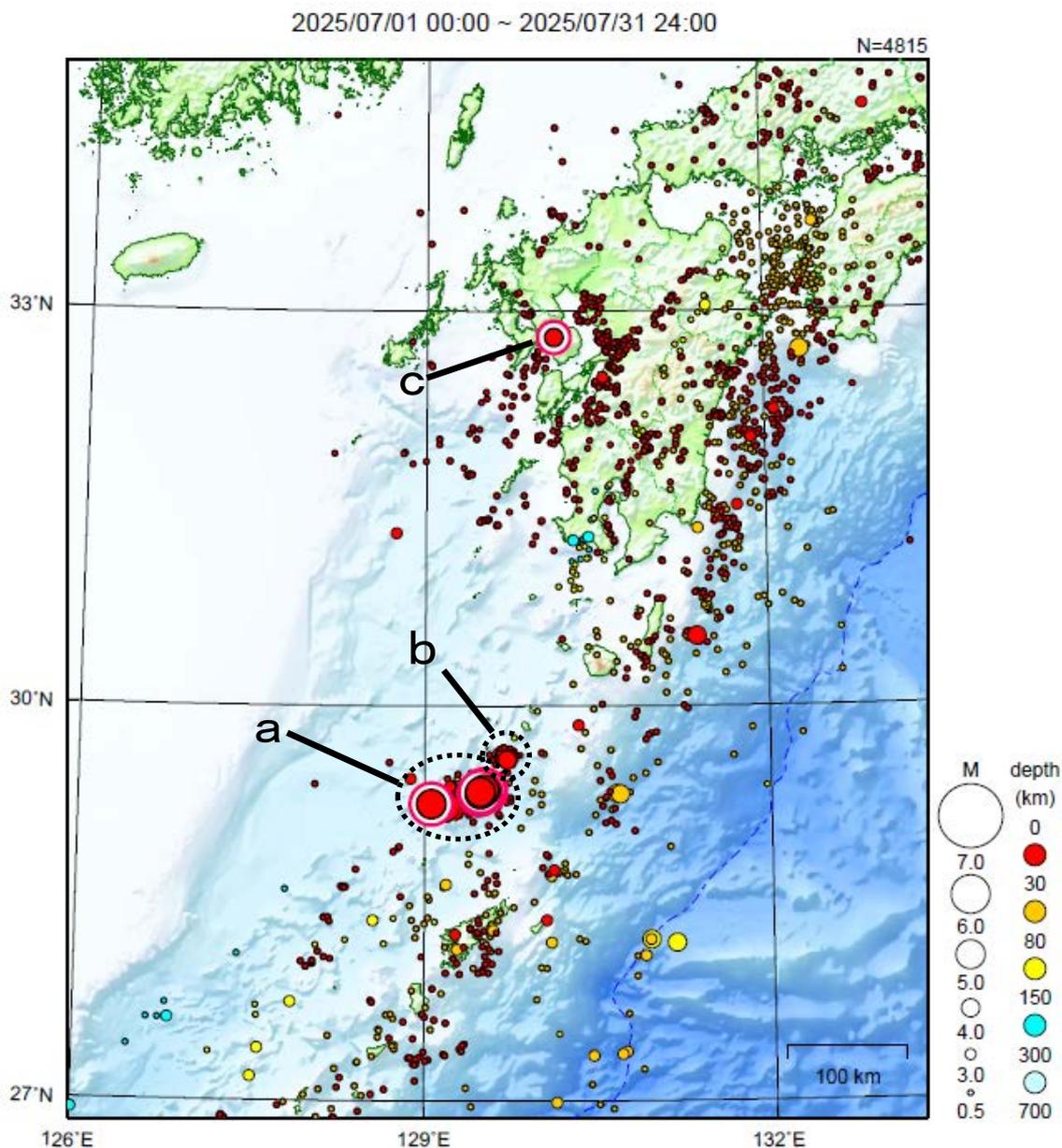


図9 九州地方の震央分布図（2025年7月1日～7月31日、M \geq 0.5）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

〔概況〕

7月に九州地方で震度1以上を観測した地震は1588回^(注1)（6月は713回）であった。

7月の主な活動（津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

a 3日16時13分にトカラ列島近海（小宝島付近）でM5.5の地震が発生し、鹿児島県十島村（悪石島）で震度6弱を観測したほか、トカラ列島から奄美群島にかけて震度3～1を観測した。この地震の震央周辺では2025年6月21日05時頃から地震活動が活発となり、7月31日までに震度1以上を観測した地震が2238回（震度6弱：1回、震度5強：3回、震度5弱：4回、震度4：51回、震度3：151回、震度2：555回、震度1：1473回）^(注1)発生した（p.55～70参照）。

b トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）では、8日に地震活動が一時的に活発となり、7月31日までに震度1以上を観測した地震が33回（震度3：6回、震度2：6回、震度1：21回）発生した。このうち最大規模の地震は、8日05時34分に発生したM4.1の地震（最大震度3）である（p.16、17参照）。

c 25日11時17分に長崎県南西部の深さ9kmでM4.8の地震が発生し、長崎県諫早市及び雲仙市で震度4を観測したほか、九州地方及び山口県で震度3～1を観測した（p.4、18参照）。

（図の範囲外）

30日08時24分（日本時間）にロシア、カムチャツカ半島東方沖で Mw8.8 の地震（Mw は気象庁による）が発生した。この地震により、岩手県の久慈港^{（注2）}で1.4m（速報値）など、太平洋沿岸を中心に北海道から沖縄県にかけて広い範囲で津波を観測した（p.71～84 参照）。

九州地方では、鹿児島県の奄美市小湊で 0.6 m、宮崎県の宮崎港^{（注2）}で 0.5m（いずれも速報値）などで津波を観測した。

（注1）掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合がある。

（注2）国土交通省港湾局の観測施設。